

2019年度1月23日 理事会議事録

1日時：2020年1月23日(木)19:01～21:28

2場所：神奈川県作業療法士会事務局

3参加理事：錠内、野々垣、木村、金山、吉本、佐々木、奥原、神保、玖島、遠藤、野本、
神田、佐藤範、戸塚、澤口、佐藤良、西川、大郷（18名）

出席監事：田中（1名）

欠席理事：鶴見（1名）

4議事録署名人：錠内会長、玖島理事、田中監事

5議決事項（議事の経過概要及び議決結果）

（1）三役

1）組織改編について

組織改編については共通認識になったと思う。2020年度は担当を決めるのではなく自主的にコラボ活動をしていき、2021年度から新体制で取り組みたい。

2）ニーズ・シーズ

2020年度も継続しそう。引き続き会長が窓口となる。

（2）事務局

1）審議事項

（ア）後援依頼

ア）建築士会「専門職連携 住宅改修ワークショップ」

2020年3月14日 地球市民かながわプラザ ⇒ 承認

2）休会希望者 2名追加 ⇒承認

2）報告

（ア）OT協会

ア）協会制度対策部 2020年度診療報酬改定説明・意見交換会の開催について 3/28
制度対策部に連絡済 山根班長参加予定

（イ）行政

ア）厚労省 社会福祉施設等におけるノロウイルスの感染症・食中毒予防対策について
周知依頼

イ）厚労省 今冬のインフルエンザ総合対策の推進について周知依頼

ウ）神奈川県 介護予防研修会 OT士会代表として吉本理事・西川理事参加

エ）神奈川県らくらく介護宣言推進講習会 2月13日 ウィリング横浜

オ）鎌倉市事業 2010年2月17日 湘南鎌倉総合病院 菅野氏派遣予定

（ウ）関係団体

ア）神奈川県医師会 神奈川県総決起大会お礼について 200名参加

2) 株) かながわ SWC 神奈川県委託事 2020 年 2 月 20 日 開成町保健センターまたは役場会議室→遠藤理事対応中

(エ) 県士会内報告

ア)) 司法書士三門先生 契約書終了

(3) 財務部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

(ア) 期末監査 2020 年 4 月 11 日または 12 日を予定。金銭の清算や書類の整備・準備をする。

(4) 学術部

1) 重点課題 なし

2) 審議課題

(ア) 部員の承認 学術誌査読委員 丸山 祥氏 (湘南慶育病院) ⇒ 承認

(イ) 研修会費の払い込み方法の再考について

現在、研修会は当日に研修会費を徴収することになっている。キャンセル待ちを断っているのに当日のキャンセルが出てしまうのは会員にとって不利益ともいえる。来年度は ZOOM を使用した WEB 受講も考えており、事前に振り込みによる参加費の徴収が可能か検討したい。

奥原; ウェブ講習会の場合、レポートを出すなど協会はしている。参加者名簿は必要。

大郷; ポイントが付かなければよいのか。

会長; 限定する理由を決める必要があるのでは。誰でも参加可能かは検討が必要。

大郷; ほかの SIG でウェブ講習を開催した際、受信環境の準備などが大変だったと聞いた。

⇒ ウェブ講習の在り方については継続審議。

大郷; 今まで振り込みにしなかった理由は何か。

金山; 事務局で振り込まれたかどうかの確認が煩雑になるため。

奥原; 返金作業も煩雑。返金しないと書く方法もあるがその理由を明確にする必要がある。

吉本; 募集時にキャンセルについての一文はあるのか。なければ注意喚起を促す方法もある。

佐々木; 現在はないのでペナルティの検討か事前振り込みについて検討している。

⇒ 注意喚起から始める。

3) 報告事項

(ア) スキルアップ研修会

ア) 作業療法士ができる身体障害者へのハンドリング

2020 年 2 月 2 日 イムス横浜国際看護専門学校

講師：坂本安令氏（作業療法士・横浜市立大学附属市民総合医療センター）

参加予定数：75名

(イ) 学術誌刊行班

3月のニュースの際の同封を予定している。今回は第10巻と記念号になっている。学術誌への広告の掲載として3社予定。僅かだが収入源として今後も継続していく。

(5) 広報部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項

(ア) ニュース班より ニュース郵送時期について

予算の関係で年3紙面で送付、年3回PDFでデジタル配信またはHP閲覧とすることが決まった。何月号を郵送とすべきか意見交換を行った結果、次のようになる。

紙	4月		8月		12月	
ウェブ		6月		10月		2月

3) 報告事項

(ア) ニュース班

ア) 2月号編集中。

イ) 現在の連載について

自動車運転に関すること（不定期掲載）を検討中。

ウ) 次年度デジタル版のニュース周知について

どのように周知するか検討中。ウェブ管理委員会とも相談のうえSNSなどの活用可否等について検討していく。

(イ) 対外広報班

ア) 相模原さくらまつり（相模原市）2020年4月4・5日 2月より準備進めていく。

(6) 福利部

1) 重点課題

(ア) 2020年度県士会表彰者の選考

功労表彰10名を決定。今後は人数等も再検討が必要か。

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

(ア) HPで使用している写真について

新人向けの案内に使用したい。

⇒今回は使用してよい部・委員は写真を玖島理事へ送る。今後は写真を撮影する際にHPだけでなく県士会全体の広報に使用することを確認していく。

(イ) 学術・福利合同 新入オリエンテーションについて 2020年6月21日開催予定。

(7) 地域リハビリテーション部

1) 重点課題

(ア) リハビリ手帳について

ア) 経緯

PT 士会が行っているリハビリ手帳事業へ OT 士会と ST 士会へ協力・共同事業へ出来ないかと依頼が来ており、会議にも参加している。直近は 2019 年 12 月 23 日に開催。

イ) 現状

リハビリ手帳と言いながら PT の必要な情報を記載するフォーマットとなっている。名前通り、OT、ST が共同できる手帳に出来ることを考えて協力が必要。手帳は、将来的なネットワーク化を見据えて、まずは紙ベースで三職種が取り組んでいきたいと説明を受けている。近年、行政での仕事は PTOTST で協働し、リハビリ三職種で取り組みをしていくことが求められている。PTOTST もリハビリ専門職としてもネットワーク化、制度化、公的な文章などに記載されていくことを期待している。

ウ) 意見交換

OT 士会への依頼は①窓口の設定②協働での作成③会議費の捻出であるが③についてはすでに予算案が確定しており難しいと説明済。

大郷；内容を知りたい。

野本；実際に使っているのか。

遠藤；予算については今後再検討か。

吉本；本人、家族、スタッフが記入するのか。個人情報にからむので病院の承認をとる必要もある。

遠藤；PT 士会はまず知ってほしいと希望している。

大郷；当事者の方のメリットを明確にしないと広がらないのでは。

佐々木；運用がうまくいっていない理由を知りたい。

遠藤；PT 士会に問い合わせているが今日まで反応なし。OT がやらなくても PT と ST で行うと。

野本；できたものに意見をいうのではなく、最初から一緒に作るという気持ちを見せてほしい。

佐々木；例えば訪問のリハビリ職員も参考になるものを作ってはどうか。

会長；予算的に難しい。まずは PT 士会が使っているところもみせてほしい。

澤口；訪問はクラウドの活用がされている。その検討のために使用するということなら分からなくもない。

⇒木村副会長が PT 士会への返信文章を作成する。

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

(ア) 研修会企画

ア) 特別支援教育など講習会

2020 年 1 月 19 日 (日) 横浜 YMCA 学院専門学校

イ) 難病リハビリテーション講習会 2019

2020 年 2 月 9 日 (日) 横浜 YMCA 学院専門学校

- ウ) 地域リハ人材育成研修会 (地域事業編)
2020年3月15日(日) 横浜YMCA 学院専門学校
- (ウ) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告
- ア) 訪問リハビリテーション学術集会 2020年1月18日(土) 開催
- イ) 介護予防普及展開事業アドバイザー
2020年1月17日に市町村の報告会の予定。遠藤理事がアドバイザーとして参加予定。OT士会から3名程度参加予定。
- ウ) 神奈川県主催 研修会協力 (PT士会受託、OT士会・ST士会協力)
 - (あ) 介護予防従事者研修会
2020年2月1日~2日 神奈川県総合医療会館 金山事務局長講師予定。
 - (い) 建築士会から研修会協力依頼
「専門職連携 住宅改修ワークショップ」をテーマにワークショップ開催。
2020年3月14日。

(8) 制度対策部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項

(ア) 大規模災害時理事会行動マニュアルについて

大規模災害後の県士会運営のフローを検討した。理事の安否確認のルールと災害後対応可能な理事が躊躇なく諸々を決定できる仕組みや理事自身の職場や家庭を優先できるように案を作成した。

ア) 流れ

- ①震度5以上 or 会長指示による場合や激甚災害指定の際
- ②72時間以内に事務局長より安否確認→事務局長から連絡なければ誰かが発信
- ③連絡のついた理事で災害対策本部立ち上げ宣言 (メール等での審議を想定。判断の全権をまかせるという担保)

イ) 意見交換

澤口; ボランティアや行政への対応はどうするのか

→あくまでも残っているメンバーで対応する流れ

会長; 理事・監事が残っているという前提で考えるしかないか。総会で承認をとる。

⇒3月の理事会で再検討。お金の管理に関しても対応考えていく。

3) 報告事項

(ア) 福祉用具班

ア) 環境スキル研修 (5回目名) 実施

12月7日(土) OT参加者4名 (定員5名)

イ) 12月21日(土) OT協会生活行為工夫モデル事業連絡会議 出席: 山崎あゆみ氏

(イ) 災害対策班

安否確認システム実施マニュアル作成中。

(9) 規約委委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項
(ア) 謝金規程について
12月の理事会での審議を踏まえ修正した。別表に「上限」と追記。原則標記通りを支払う。⇒承認。本日つけで開始する。
- 3) 報告事項
(ア) 個人情報保護規程
司法書士みかど事務所に依頼中。今月中に原本を作成していただき、内容を2月上旬に確認、2月下旬に最終チェックし、3月の理事会での承認を目指す方針。
(イ) 会員規程について
12月の理事会での議論を踏まえて修正。現在、三役に相談中。

(10) ウェブサイト管理委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項
(ア) ウェブサイト内の情報に関して
県士会サイトの2次利用に関して、以下の手順を研究担当者に説明した。
①作業療法の魅力を語るの原稿執筆者にメールで連絡を行うので、説明するための簡単な文面の作成を担当者に依頼
②論文中使用する箇所について報告してもらう
③ウェブサイト管理委員会で(連絡のつく)作業療法の魅力を語るの原稿執筆者に使用の可否について確認を行う
④使用の可否について執筆者に報告を行う
今後、サイト内の情報等の2次利用等について検討を進めていく予定。

(11) 学会評議委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項
(ア) 第4回神奈川県臨床作業療法大会 第3回実行委員会
2020年1月開催済み。予算内なら会費無料も検討中。
吉本；会費について、180万の予算なので残りは戻ってくるのか。
→参加者によるため分からない。
吉本；現在の収入から考えると学会の参加費は大きいことは知っていてほしい。
→参加者は200名を考えている。
佐々木；1時間で4名発表だと100名の部屋では大きいのでは。教育講演も検討しては。
(イ) 第18回神奈川県作業療法学会
大会長の選出→再調整中

(12) 公益法人化対策委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

(ア) 公益率 現在作成中。

(イ) 公益事業 映画上映を検討中。内容を理事 ML でシェアする。

6 渉外報告

(1) 介護予防のための地域ケア個別会議 12/19 吉本理事、黒木氏参加

(2) 神奈川県臨床検査技師会 賀詞交歓会 1/10 錠内会長

(3) 神奈川県病院協会 賀詞交歓会 1/15 錠内会長

(4) 市町村介護予防事業等担当者研修会 1/17 錠内会長、遠藤理事、吉本理事、西川理事

(5) 神奈川県医療専門職連合会 定例会 1/22 錠内会長

7 次回予定

(1) 三役会 3月4日(水) 19:00～

(2) 次回理事会 3月19日(木) 19:00～

以上、文責 金山・明立

議事録署名人

議長： 錠内 広之
理事： 玖島 弘規
監事： 田中 ゆかり

印
印
印